

語数：179語 目標：105秒以内（WPM 102） ジャンル：エッセイ ねらい：具体例と主張を区別する

 **場面** 高校入試の過去問によく似たエッセイ。塾の自習室で、タイマーをセットして挑戦します。エピソード（具体例）と言いたいこと（主張）の区別が読みの鍵。

 **やり方** ① 合図でスタート→ふつうの速さで最後まで読む→読み終わった秒数をメモ ② 設問(1)は本文を見ないで答える。(2)～(4)は本文から探してよい（探すのも速さの練習！） ③ 裏面で丸つけ→WPMを計算 ④ 別の日に同じ文章で2回目挑戦—読んだことのある文を速く読むのが、速読のいちばんの練習です。

読 エッセイです。

The Year I Sat on the Bench

I joined the basketball team in my first year. I was not tall, not fast. For a whole year, I sat on the bench and watched.

At first, I only counted the minutes. Then, one afternoon, our coach said something to me on the way home. "You see the game better than anyone on the court. You have time to look." I did not know if it was kindness or truth.

So I began to write. In a small notebook, I wrote what I saw: which player looked tired, which pass came too late, when our team stopped talking. Before the next game, I read one line of it to my teammates. Just one line.

In my third year, I played for eleven minutes in the last tournament. We lost. But after the game, our captain said, "Your notebook made us a team."

People think growing means moving forward. Sometimes it means staying still long enough to see. The bench was not a waiting room. It was a seat with a view.

 bench=控えの席 court=コート tournament=大会

問 設問（10点満点） (1)は本文を見ずに、(2)～(4)は探してOK。

(1)	（本文を見ないで）筆者がこの一年から学んだことは？ ア. 立ち止まって見つづけることも成長のかたちだということ イ. 努力すればいつか試合に出られるということ ウ. 記録を取ると記憶が定着するということ エ. 背が低くてもバスケットボールはできるということ	3点 ()
(2)	コーチのことばに近いのは？ ア. 君はノートを取るべきだ イ. 君はだれよりよく試合が見えている ウ. 君はもっと練習するべきだ エ. 君は背が高くなる	2点 ()
(3)	三年生の最後の大会で筆者は？ ア. 十一分間出場し、チームは勝った イ. キャプテンとして出場した ウ. 十一分間出場し、チームは負けた エ. 出場せずベンチにいた	2点 ()
(4)	本文の内容と合うものは？ ア. 筆者は一年生のときから試合に出ていた イ. 筆者は試合前にノートから一行だけ仲間に読んだ ウ. 筆者はノートを毎日全部読み上げた エ. コーチが筆者にノートを書くよう命じた	3点 ()

 **WPM（1分あたりに読めた語数）＝ 速さの記録** 105秒で読めたらWPM 102＝目標達成

WPM ＝ 179語 × 60 ÷ かかった秒数 → 1回目_____ / 2回目_____

答 解答とポイント

(1)	ア	最終段落 Sometimes it means staying still long enough to see.
(2)	イ	You see the game better than anyone on the court。ノートは筆者が自分で始めたこと (So I began to write)。
(3)	ウ	I played for eleven minutes ~ We lost。キャプテンは筆者に声をかけた別の人。
(4)	イ	I read one line of it to my teammates. Just one line。ノートは自発、一年目はsat on the bench。

☆速く読むコツ Level 8 エッセイは「エピソード（ベンチ・ノート）」という服の下に「主張」の体がある。主張はたいてい最終段落で、そこだけ一般論の顔で書かれるー主語が I から People に変わったら、そこが主張の合図。

■ クリア条件 8点以上 かつ WPM 102以上（105秒以内）→ 次のLevel 9へ。
とどかなかったら一別の日に同じ文章で2回目。2回目は必ず速くなります。それでも設問をまちがえたら、コツを読んでから初見読解ラダーの同じくらいのLevelで力だめしを。

記録 得点___/10 1回目WPM_____ 2回目WPM_____ クリア ☐